

科目名	精神看護学概論	時期		時間	単位
担当教員	専任教員 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う	2年次	前期	30時間	2単位
学習目標	1 精神看護の対象と看護の場について理解し、精神看護の役割と機能を理解する 2 精神保健福祉に関わる法制度の変遷について理解する 3 精神保健の課題について理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方法
1	精神保健・看護の概念	1 精神看護とは 2 精神保健とは 3 精神看護の目的・機能・役割	講義
2～3	精神保健	1 精神の健康とは 2 精神障害のとらえ方 3 回復（リカバリ） 4 ストレングスとレジリエンス 5 一次予防・二次予防・三次予防	講義
4～5	心のしくみとはたらき	1 精神とは 2 心の構造について 3 防衛機制	講義
6～7	精神保健医療の沿革・歴史	1 精神障害と治療の歴史 2 日本における精神医学・精神医療の流れ	講義
8	リエゾン精神看護	1 リエゾン精神看護とその活動 2 リエゾンナースの実際	講義
9	生活の場とクライシス	1 クライシスとは 2 家庭・学校・職場・地域における危機	講義
10～11	精神障害と法制度	1 精神保健福祉法と医療 (1) 入院形態 (2) 精神保健指定医 2 精神障害者の権利擁護 3 障害者総合支援法と人権 4 自殺対策基本法と人権・看護	講義
12～13	地域における精神保健と精神看護	1 生活を支えるための社会資源・サービス	講義
14	看護における感情労働	1 感情労働としての看護 2 看護師の感情ワーク	講義
15	試験（45分）	講義総括	

使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学1	武井 麻子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学2	武井 麻子 他	医学書院
	精神看護学 精神保健 第4版	太田 保之 他	医歯薬出版
	国民衛生の動向		厚生統計協会
参考図書・資料等	DVD「A Beautiful Mind」		
評価方法	筆記試験・課題レポート		

科目名	精神看護援助論 I	時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師	2年次	後期	30時間	1単位
学習目標	1 精神の健康障害や精神症状について、看護の基本となる考え方、技術を理解する 2 精神に障害のある人の特徴と看護援助を理解する				

授 業 計 画			
回数	項目	内容	方法
1～3	主要疾患別看護	1 統合失調症のある患者の看護 2 気分（感情）障害のある患者の看護 3 アルコール依存症のある患者の看護 4 家族への看護	講義
4～6	主要症状別看護	1 幻覚・妄想のある患者の看護 2 抑うつ、引きこもりのある患者の看護 3 拒絶、興奮状態にある患者の看護 4 自己破壊行動のある患者の看護 5 操作、依存状態にある患者の看護	講義
7～8	精神科の治療と身体のケア	1 薬物療法とその副作用 2 電気けいれん療法（ECT）	講義
9～10	回復を支えるさまざまなプログラム	1 作業療法、レクリエーション療法 2 社会生活技能訓練（SST） 3 認知行動療法（CBT）	講義・演習
11～12	地域における精神看護	1 退院支援 2 神科デイケア 3 精神科訪問看護、ACT（包括型地域生活支援プログラム） 4 セルフヘルプグループ 5 就労移行支援・就労継続支援 A 型・B 型 6 グループホーム、援護寮、家族会など	講義
13～14	精神科における安全管理と患者の権利擁護	1 行動制限と看護 2 暴力・無断離院 3 アドボカシー	講義・演習
15	試験（90分）	試験	

使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎	武井 麻子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の展開	武井 麻子 他	医学書院
参考資料・資料等	DVD 目で見える精神看護第2版 Vol.1 精神科医療と福祉の現状、Vol.3 病院から地域社会へ 目で見える訪問看護 Vol.6 精神疾患をもつ療養者の看護		
評価方法	筆記試験		

科目名	精神看護援助論Ⅱ		時期		時間		単位	
担当教員	専任教員 専任教員は看護師として実務経験が5年以上あり、その経験を活かして授業を行う		2年次	後期	30時間		1単位	
学習目標	1 精神の健康障害や精神症状について、看護の基本となる考え方、技術を理解する 2 精神に障害のある人の問題を解決するための方法を理解する							

授 業 計 画			
回数	項目	内 容	方法
1～3	精神看護師の役割	1 精神看護の特徴と役割 2 患者-看護師関係 3 人間関係（自己洞察） (1) プロセスレコード	講義・演習
4～7	精神を病む人への看護援助の基本	1 日常生活援助 2 看護が活用する技法 (1) コミュニケーション (2) ロールプレイング (3) 生活技能訓練（SST）	講義・演習
8～14	精神に障害のある対象の事例展開（事例）	【事例】 1 統合失調症の患者の看護 2 うつ状態にある患者の看護 3 事例に対し、臨地実習で使用する記録用紙を用いて看護過程を展開する (1) 情報、分析・解釈 (2) アセスメント (3) 統合アセスメント (4) 看護計画 4 発表	演習
15	試験（45分）	講義総括	

使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎	武井 麻子 他	医学書院
	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の展開	武井 麻子 他	医学書院
参考図書・資料等			
評価方法	筆記試験・レポート		

科目名	精神看護学実習 2単位 90時間
-----	-------------------------

実習目的	精神に障害のある対象とその家族を理解し、健康上の課題が対象の生活行動に及ぼしていることを総合的に把握し看護する能力を修得する
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 精神に障害のある対象およびその家族を理解する 2 精神に障害のある対象およびその家族のもつ問題を把握し、看護を展開する 3 対象との関わりを通して自己を振り返り、関係を発展させる技術を理解する 4 デイケアを利用している対象と、その対象への援助を理解する 5 精神科訪問看護を利用している対象と、その対象への援助を理解する 6 地域における支援事業を知り、地域で生活している対象を理解する 7 保健医療福祉チームの一員としての看護師の役割を理解する 8 対象の権利擁護について自らの考えが述べられる